

# 同窓会報

■発行/同窓会事務局 〒935-8535 氷見市幸町17-1 氷見高等学校内 Tel 0766-74-0335 Fax 0766-72-8136



所感  
同窓会長  
加藤 道郎  
(中九)

今回、図らずも屋敷前会長の後任として母校氷見高校の同窓会々長の重責を引き受けることになりました。元より浅学非才その任に非ざることは充分認識してはおりますが、同窓役員会の要望とのことで、今なお心中忸怩たるものがございますが、暫くその職を汚させて頂きたいと存じます。この上は同窓会の皆さんは勿論、学校当局やPTAの皆様のご指導ご鞭撻の下にこの職責を全うしたいと念願している所でございます。

思えば氷見高校の前身氷見中学校が氷見市の中心地朝日山の頂上に呱呱の声をあげてから既に七〇有余年の月日が流れました。その間、緑薫る朝日ヶ丘に青春の血を流らせ、はたまた鞍川山の若草に友との哀歌を綴った懐かしい嘗つての日々を想うとき、私共は氷見高校の同窓であることをどれ程嬉しく、また誇り高く思つて来たことでしょうか。

一昨年の秋、母校開校七〇年の記念式典が盛大に挙行されました。祝典を機に同窓会活動も一気に燃え上がり、地元は勿論、遠く関東・関西の各支部からも故郷氷見の発展と母校の活躍に対して熱い声援を送って頂きました。また、第一体育館の竣工を見た他、各施設の充実も順調に進みました事は同窓の至りでございます。これも偏に同窓会の皆様の母校を想い、母校を愛する誠意の賜に外なりません。今後とも、勉学のみならず体育や文芸の分野においても母校のより一層の発展を望み、その為に吾々同窓会は心からの支援を行って行きたいと思つたものでございます。



歸去來  
屋敷 平州  
(中七)

同窓会長を仰せつかったのは平成二年のことであつた。当時、県関係の仕事があつたり、その後入院という憂きことも加わり、学校の然るべき行事あるいは同窓会・関東・関西支部総会にも出席すること僅か一、二回に過ぎなかつた。

しかし、「第六五回全国選抜高等学校野球大会」出場や創立七十周年記念事業・行事等々逢い難い吉事に際して、創立七十年記念誌「70年のあゆみ」に記録された成果を挙げる事が出来たのは、同窓会役員、高等女学校・中学校・高等学校の同窓会各期の皆様方、PTA・生徒・学校当局各位の氷見高等学校にお寄せ下さつた熱い想念と連帯感に依るものであり、誠に感謝に耐えません。

今、敬愛する加藤氏の会長ご就任の運びとなり、同窓会の発展を確信し、母校の発展をお祈りするばかりです。

同窓会員各位がもし「自分史」をお書きになるとすれば、母校での、そして同窓会での青春の群像に心のまほろばを見出し、老いたる人々は遠い青春を、若き人々は近い青春の遙かな未来に向けての飛翔を思い描かれることでありましょう。

不肖在任中、皆様との友垣に恵まれ、しばしば、「風は清し月はさやけし いざとも睡りあかささん老いの名こりに」(良寛)とばかり、心の高揚を感じさせて頂いた日々を憶い、皆様方のご多幸をお祈りしながら、南窓に依つて憩いたきものと存じています。



ご挨拶  
校長  
林 誠一

今春、輝かしい歴史と伝統ある皆様の母校に赴任いたしました。本校発展のため誠心誠意努力いたす所存ですのでよろしくお願いいたします。

日頃より同窓会員各位には本校教育活動に深いご理解と暖かいご支援を賜り心からお礼を申し上げます。

九月に開催されました同窓会総会では、新会長に加藤道郎様(中学九回卒)が選出され、そして永年に亘つてご尽力いただきました屋敷平州様は顧問に就任されました。屋敷先生のご労苦に感謝しますとともに加藤会長様のご活躍をお祈りいたします。また、過日同窓会関西支部、関東支部の皆様のお集りにご招待いただき、学校の近況等についてお話ししてまいりました。

在校生は「質実剛健 醇厚中正」の校風のもと「文武両道」を目指して勉強・部活動に頑張っております。なかでも野球部は夏の県大会では決勝進出を果たし、我々に大きな勇気と感動を与えてくれたことはまだ記憶に新しいところです。また、ハンドボール部・自転車部は神奈川国体に出場し活躍しました。文化部では、吹奏楽部・理科実験部などが目覚ましい活躍をして高い評価を得ております。一方、三年生は進路選択の時期を迎え、それぞれの成果をあげるべく自らの目標に向かって精一杯努力しております。本校も少子化による生徒減少を反映して学校教育も大きな転換期を迎えております。

同窓会員の皆様には今後とも母校発展のため温かいご支援をお願いしますとともに各位の一層のご健勝とご活躍をお祈りしてご挨拶いたします。



夏の県大会で得たもの

山端 将介(高一十九)

第八十回全国高等学校野球選手権記念富山大会決勝で、二十年ぶり五回目の決勝進出を果たした氷見高校は、名門富山商業に四対五で惜敗し、三十三年ぶり二度目の夏の甲子園出場はなりませんでしたが、誰もがずっと夢に描いてきた甲子園出場、惜しくも敗れはしましたが、この県大会を通して選手たちはもちろん、指導してきた我々もいろいろなことを学びとることができました。まず感じたことは、いろいろな人々が我々を支えてくれていると言うことでした。この県大会を通じて多くの方からの励ましとご声援をいただきました。チームが勝つことによつて、同窓会の方をはじめ、多くの氷見高校ファンの方も喜んで下さいました。選手たち、そして彼らを支えて下さったファンの皆さまに心から感謝申し上げます。選手たちはよく戦ってくれました。日頃から、選手たちには「悔いの残らないゲーム」、「力を出し切るゲーム」をするように要望してきましたが、決勝戦はまさに選手は全力で戦ってくれました。その戦いぶりこそわが「氷高健児」の姿そのものでした。

近い将来、伝統ある氷見高校野球部の後輩たちが、必ずや「夢」を實現してくれることと確信しておりますが、今後とも皆さまのご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。



ありがとうございました。

三年七組 上山 賢宗

今年の夏は僕達にとって忘れる事ができない大会だった。僕はこの大会が始まるまでは、調子が悪く、とても悩んでいたが、試合を重ねるにつれて自身自身の力を取り戻して来た。準決勝の日は朝から暑く「必ず決勝戦に出てやる。」と心に誓い、試合に臨んだ。球場の内は風がなく、とても蒸し暑くて八回を過ぎる頃には疲労がピークとなり、後は自分自身との戦いになった。最後の打者を三振に打ちとつた時、一つの目標に一步近づいたと思った。決勝戦の日も暑かった。「この試合は僕達にとって最後の試合になるかもしれない。もし負けたとしても後悔が残らない試合にしたい。」と思つてマウンドに上つた。僕は自分自身が持つていける力を全部出したが、後もう一步の所で負けてしまった。しかし、僕達は自分達が持つていける力を出しきつて負けたのだから悔いが残らなかつたし、笑顔で終わる事ができた。今まで応援して下さつた方々に心から「ありがとうございました。」と言いたいです。

ブロンズ像 贈られる

三月二十五日、酒井光雄氏(同窓会前副会長)のご遺族より、ブロンズ像「張果老」が寄贈されました。光雄氏は生前より「高校に恩返しをしたい。」と語つておいでたそうです。会長・学校長連名により感謝状を贈りました。ご冥福を祈ります。

ピロティ照明設備完成

四月二十八日、野球部資金管理委員会・学校・工事施工関係者の出席をいただき、第一体育館で完成披露式が行われました。

総事業費二七〇万円の立派な設備です。冬期夜間練習も可能になり、野球部の活躍が期待されます。

現旧教職員懇談会

(朝日会) 開催

第二回朝日会(平成七年発足)が十一月二十二日、菅一山荘で開催されました。高峯代表の挨拶、正保先生の想い出話、沢本先生の漢詩朗読・小島先生による乾杯等、終始和やかな雰囲気でした。三年後の再会を誓いました。

叙勲・表彰

- 勲五等瑞宝章 高嶋 顕信(中十一)
- 県教育功労者表彰
- △学校保健功労者▽
  - 加藤 道郎(中九)
  - △優良体育スポーツ団体▽
    - 氷見ハンドボールクラブ

氷見高校写真展

氷見高校生の学校生活を写真で紹介いたします。御高覧ください。

- 平成十一年一月二日(土)～十五日(金) 場所/ハッピータウン
- 平成十一年一月十六日(土)～二十六日(火) 場所/プラファ・トーカマート

平成十年度 部活動報告

▼運動部(野球部については本文参照)

- 富山県高等学校春季大会
- 女子ハンドボール部 優勝
- 自転車部総合優勝
- 北信越高等学校総合体育大会
- 男子ハンドボール部 優勝
- 全国高等学校総合体育大会
- 自転車部
  - チームロードレース 21位
  - (本川、竹沢、谷口、広瀬)
  - イタリアンチームレース 21位
  - (橋本、林、竹沢、本川)
- 3km個人追抜 竹沢浩司 37位
- エリミネーション 本川洋一 22位
- 国民体育大会
  - 自転車競技
    - 個人ロードレース 竹沢浩司 16位
    - 4km速度競争 竹沢浩司 順決勝進出
    - ポイントレース 谷口延平 18位
    - 4km団体追抜 32位
  - 富山県高校新人大会
  - 女子ハンドボール部 優勝

▼文化部

- 中部日本吹奏楽コンクール大会
- フラスバンド部 高等学校小編成の部 優勝
- 第10回高等学校文化祭
- テーマ標語部門最優秀賞 小豆由衣(3年豊)
- キャッチコピー部門最優秀賞 住持絵美(3年豊)
- 日本学生科学賞(全国大会)
- 第23回富山県青少年美術展
  - ◆美術・書道部
    - 入賞 絵画の部 銀賞 上杉靖吾(3年豊)
    - 書の部 佳作 西川多美子(2年豊)

✿事務局より

経済不況が話題となった今年も暮れようとしておりますが、会員の皆様にとつてはどんな年だったでしょうか。

- 同窓会報「第九号」をお届けいたします。会長さんが交代され、新たな一歩を歩みはじめました。卒業各回の役員名簿も載せてみました。空欄になっている回で、お心あたりの方がありましたらお知らせ下さい。
- 次回の同窓会報の原稿を募ります。事務局までお寄せ下さい。
- 新しい年に期待するとともに、会員各位の御活躍をお祈りいたします。